

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2019-122238 (P2019-122238A)
 【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-029
 【出願番号】特願 2018-171282 (P2018-171282)
 【国際特許分類】

H 0 2 M 7/48 (2007.01)

H 0 2 P 3/22 (2006.01)

H 0 2 H 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 7/48 M

H 0 2 P 3/22 A

H 0 2 H 7/00 G

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 5 日 (2020.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本開示の一態様に係るモータ制御装置およびモータ制御装置の制御方法は、さらなる改善を図ることができる。例えば、モータの急減速および直流電源とインバータとを接続する電力線の過電圧の両方を効果的に抑制することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 6 0】

(実施形態 4)

図 11 は、実施形態 4 によるモータ制御装置 40 の構成を例示している。実施形態 4 によるモータ制御装置 40 は、実施形態 3 によるモータ制御装置 40 と比べて、制御部 50 の構成が異なっている。実施形態 4 によるモータ制御装置 40 のその他の構成は、実施形態 3 によるモータ制御装置 40 の構成と同様となっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 6 7】

また、この例では、異常制御実行部 532 は、三相短絡制御において、3 つのハイサイドスイッチング素子 S1 ~ S3 からなるハイサイドスイッチング素子群および 3 つのローサイドスイッチング素子 S4 ~ S6 からなるローサイドスイッチング素子群のうち異常判定部 51 により短絡異常であると判定されたスイッチング素子を含むスイッチング素子群をオン状態にするように構成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 6 8】

また、この例では、異常制御実行部 5 3 2 は、三相短絡制御において、3つのハイサイドスイッチング素子 S 1 ~ S 3 からなるハイサイドスイッチング素子群および3つのローサイドスイッチング素子 S 4 ~ S 6 からなるローサイドスイッチング素子群のうち異常判定部 5 1 により開放異常であると判定されたスイッチング素子を含むスイッチング素子群をオフ状態にするように構成されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 8 5】

そして、実施形態 5 では、異常制御部 5 3 は、異常判定部 5 1 により異常検知信号 S 5 1 が出力されると、モータの動作状態に応じて三相短絡制御と全開放制御のいずれか一方を選択して行うように構成されている。実施形態 5 の異常制御部 5 3 による動作（異常判定部 5 1 により異常検知信号 S 5 1 が出力された後に行われる動作）は、実施形態 1 の異常制御部 5 3 による動作（異常判定部 5 1 により異常があると判定された後に行われる動作）と同様となっている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 11】

